

山形県生コンクリート工業組合との意見交換会が開催されました

11月10日（木）、山形県生コンクリート工業組合との意見交換会が当事務所において開催されました。

工業組合からは渡邊理事長ほか6名、当事務所からは上原所長ほか3名が出席し、酒田港に関係した社会資本整備全般について、意見交換を行いました。

冒頭、渡邊理事長より、酒田港はコンテナ貨物取扱量の増大、国際コンテナ航路の増便、また国際ターミナルヤードの拡張と東アジア地域との交流の拠点港として重要性を増していることから、引き続き防波堤の整備とともに高砂ふ頭の岸壁延伸、大型クルーズ船受入環境の整備など、計画的かつ迅速な整備促進を図ってほしい旨の要請がありました。

これに対し、上原所長から、高砂ふ頭の2隻同時着岸に向けた岸壁の延伸、古湊ふ頭の老朽化対策の一環としての係船柱等の整備を含め、酒田港の整備事業をしっかりと進めていく旨、回答しました。

また、来年度寄港するクルーズ船に関連して、いかに地元の活性化に繋げるかといった点についても意見交換が行われました。



上原所長

渡邊理事長

陳情書の手交

